

あなたも めざせ！世界遺産登録 参加しませんか？

識字支援から学ぶ 世界遺産保全活動 鎌倉ユネスコ協会



ルンビニでの寺子屋地鎮祭にて

鎌倉ユネスコ協会は1988年の創立以来、世界遺産登録地周辺での識字支援活動を行なっています。既に世界遺産登録されたところでも、社会・経済的事情から教育機会が不足しているところが多くあります。そこでの識字支援が地域住民の世界遺産の理解と保全に繋がります。

鎌倉ユネスコではこれまでに、ペルーのワスカラン、ブラジルのセラダカピバラ、ネパールのルンビニをはじめアジアや南米に寺子屋を建て、教材を現地に届けるスタディツアーを実施してきました。また、日本ユネスコ協会連盟を通じて、危機遺産への支援や経済的事情から世界遺産登録が遅れているところの登録促進支援も行なっています。

一方、鎌倉の世界遺産対応では、会員対象に1996年から2007年迄に鎌倉の遺産保全関連講座や見学会を開催してきました。主なものでは、永福寺跡見学会、各切通・常盤亭跡見学、城郭都市発掘現場見学、大仏殿遺跡・仏法寺跡発掘現場見学、鶴岡八幡宮本殿重要文化財見学、西村幸夫教授公開講座開催等です。また、鎌倉市の世界遺産登録推進担当者を招いて、世界遺産登録に向けての市の準備状況、武家の古都・鎌倉MAPについての勉強会も2回開催しました。

鎌倉ユネスコは、支援から学んだことを地域遺産運動推進に活かしながら、世界遺産問題を考えていきます。

ご入会に関するお問い合わせは〒247-0062 鎌倉市山ノ内381 森井方（電話0467-22-8949）まで。

鎌倉まつり等で 世界遺産登録をめざす (社) 鎌倉市観光協会

社団法人鎌倉市観光協会（以下観光協会）は、観光宣伝、観光客の誘致、鎌倉まつり、鎌倉花火大会、鎌倉薪能などの観光行事、外国人観光客向け鎌倉ガイドの運営など、観光に関する事業を行い、鎌倉の観光事業の振興と健全な発展に努め、あわせて国際観光の振興に寄与しています。

今年度は、観光協会にとって、鎌倉まつりが50回、鎌倉花火大会が60回、鎌倉薪能が50回とそれぞれ節目の年を迎えています。

特に、今回の鎌倉まつりは、メインテーマを「鎌倉の世界遺産登録をめざして」と掲げ、観光協会と登録推進協議会のコラボレーションで取り組み、大いに成果を上げることができました。推進協議会は、昨年も鎌倉まつりのパレードに参加し、武家の古都・鎌倉MAPを配布しましたが、今年はさらに積極的に協同歩調で参加しました。

頼朝、政子、義経、静に扮装した推進協議会メンバーの鎌倉武者行列による第50回記念パレードへの参加、内海恒雄広報部会長の案内による寺社特別拝観めぐり、工藤父母道講師、県立七里ガ浜高校・吹奏楽部、植木リトウル・エコー・アンサンブルによる世界遺産講演会・演奏会、「鎌倉の美」写真コンクール入賞作品展・「武家の古都・鎌倉」美術・写真展など幅広い協力や共催による参加を行いました。

井手太一観光協会会長（鎌倉世界遺産登録推進協議会副会長）は、「推進協議会と共催した鎌倉まつりは大成功、8月の鎌倉花火大会、10月の鎌倉薪能についても、鎌倉の世界遺産登録に向けたイベントとして取り組んでいきたい」と抱負を語ってくれました。

現在、観光協会では、新しい会員を募集しています。菅原専務理事は「個人会員の入会も大歓迎です。一緒に鎌倉の観光と産業を盛り上げていきませんか！鎌倉大好き人間の入会をお待ちしています」と話しています。

お問い合わせは観光協会（電話0467-23-3050）まで。



第50回鎌倉まつりパレードの武者行列